

湖国精工(株)環境方針

企業の社会的責任を認識し、自社から環境汚染は出さないよう「安全・防災・環境保全」の改善活動に継続的に取り組む。

- ①廃棄物の削減と分別処理の推進
- ②省エネルギーの推進
- ③環境・地域社会への貢献
企業市民として[ふるさと盛越川を愛する会]の地域の環境活動に参加し清掃作業をする。

環境保全のあゆみと取り組み

平成13年2月26日、大津市と[環境保全協定書]を締結する。

(目的)

次の世代により良い環境を引き継いでいくために、大津市・市民事業者がそれぞれの役割と責任を認識し、快適で環境への負荷の少ない持続可能なまちづくりに自主的、主体的に行動するとともに協働して取り組むことが求められている。

(活動の推進)

事業者は実施可能な範囲で自主的・主体的に環境保全に係る目標等を設けて、環境への負荷の低減、資源の循環及びエネルギーの効率化、その他環境保全に係る活動を実施するものとする。

(環境管理体制の整備・充実)

環境保全活動を継続して推進するため、必要な組織を整備し、環境保全に関する方針及び目標を定め、その実施状況を点検しなければならない。

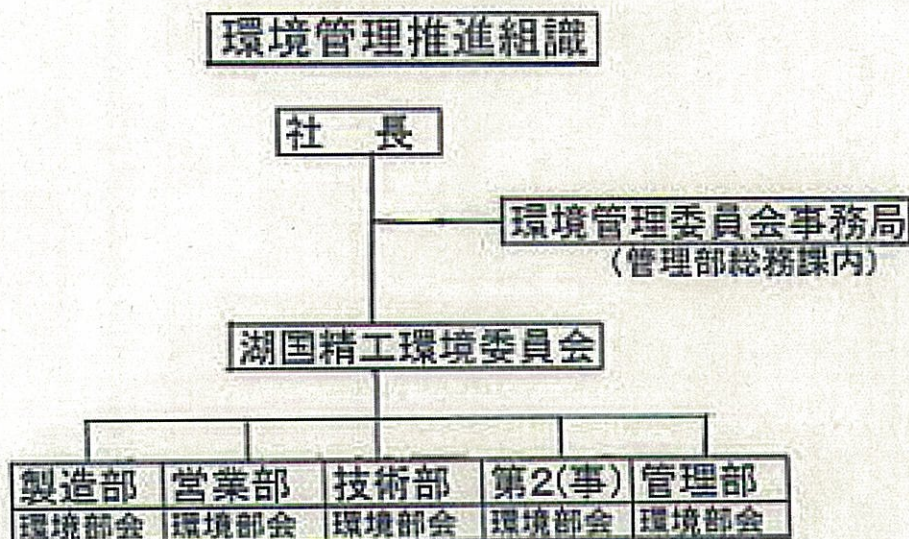
また、環境管理体制はISO14001に沿ったマネジメントシステムの構築又市の定める手引きに従う整備により行うものとする。

(報告)

環境保全活動の実施状況について取りまとめ、原則として毎年1回市に報告する。

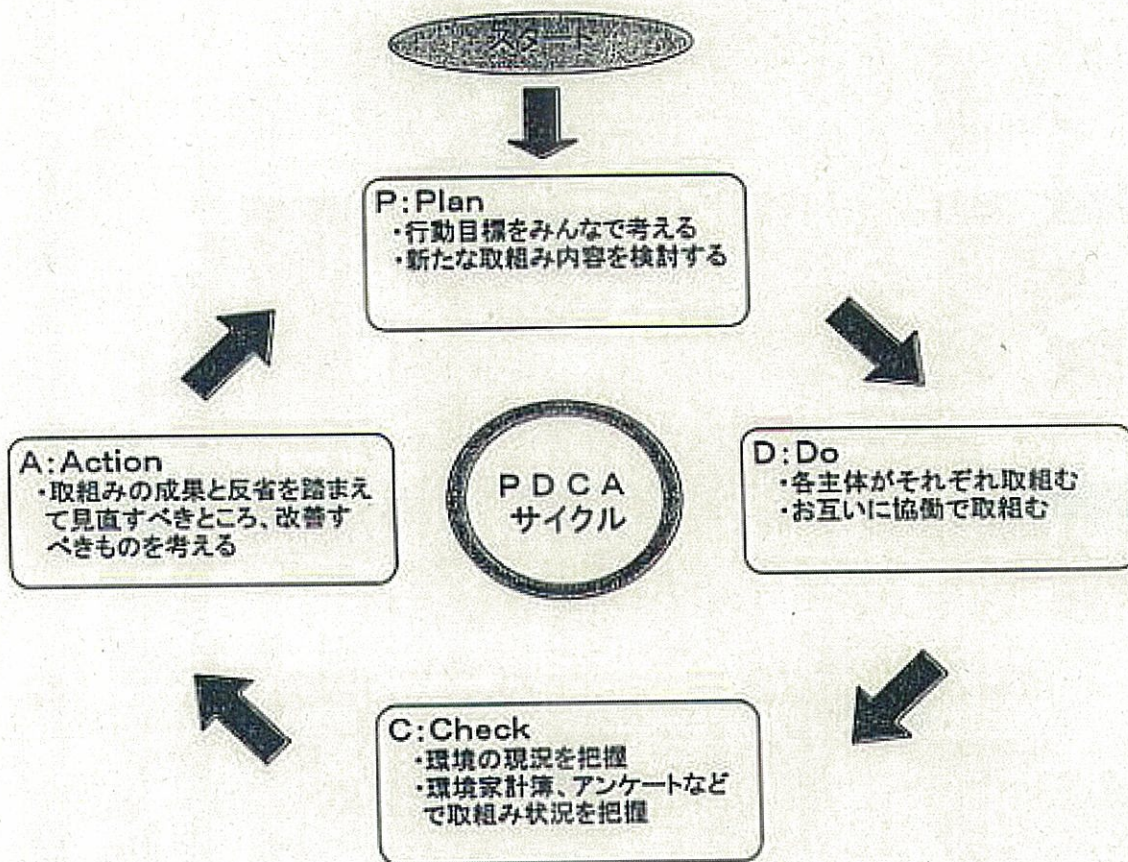
具体的な環境行動項目

- ①廃棄物対策 : 減量化・再資源化
省資源 : 資材及び消耗品の削減・用水使用量の削減
グリーン調達: 環境負荷の小さい製品・部品・材料等の調達
- ②地球温暖化防止: 省エネルギー活動(大気・水質・騒音・振動
悪臭対策等、法・条例の遵守)
- ③景観向上: 工場周辺の清掃・緑化



環境に関する計画を効果的・効率的に推進するために

計画(Plan)→実施(Do)→評価(Check)→見直し(Action)→計画
というような継続的な改善をめざした環境マネジメントの考え方を導入する
ことが有効であると言われています。



環境中期計画

	2001年	2002年	2003年
廃棄物	減量化	分別処理の徹底	リサイクル化
	適量購入	木片・ビニール・ガラス・プラスチック	紙類・廃プラ・廃油
省資源	電力使用量の低減	エアリー漏れの改善	----
	デマンドメーターによる管理	配管設備の取替え	----
グリーン調達	事務用品のグリーン調達	梱包・包装材の半減	全調達品のグリーン購入
	環境配慮型事務用品の購入	梱包・包装材の少ない納入品	環境配慮型製品の購入
地球温暖化	CO ₂ 排出削減	CO ₂ 排出削減	----
(省エネ活動)	アイドリングストップ	ガスヒートポンプの導入	----
	ガス空調への切替		----
景観向上	工場周辺の清掃	CO ₂ 吸収効果の向上	----
	盛越川の清掃作業	工場周辺の緑化	----

このマークのついた商品を優先的に購入します



古紙配合率100%
再生紙を使用しています

2001年活動状況

1. 廃棄物一減量化

- ①材料・部品・製品等購入品の梱包材(木材、ダンボール、ビニール発泡スチロール他)は納入業者に持ち帰らせている。
- ②油脂類の空缶は次回購入時に返却している。
- 一適量購入
 - ①特に機械油、塗料、シンナーなど在庫量を常にチェックし極力購入量を抑えている。
 - ②製品材料の鉄鋼材、線材は端切れが出ないように細心の計量を計っている。

2. 省資源一電力使用量の低減

- ①電力使用量をデマンドメータで管理し最大値の抑制に努めるとともに、不用な電力・電灯のスイッチOFFを展開している。

契約電力500kW	(KW)			
最大電力値	13/7, 474	13/8, 477	13/9, 469	13/10, 410
	13/11, 289	13/12, 293	14/1, 312	14/2, 339
	14/3, 352	14/4, 239	14/5, 232	

- ②紙の使用量削減一コピー枚数の削減に併せてA4サイズを社内統一に推進している、このことによりB4サイズに対しては1枚当り30銭A3では55銭の節減になる。

また、使用済用紙の裏面再利用に心掛けている。

3. グリーン調達の一環境配慮型事務用品の購入

- ①エコマークのついた商品を優先的に購入する。

事務用品購入に対するエコ商品率

H14/3月分19.6%(内文具類では45.5%)

H14/4月分55.6%(内文具類では57.0%)

(資料1～2参照)

4. 地球温暖化防止一アイドリングストップ運動実施

(省エネ活動)

- ①構内への車両乗り入れは15K走行を守るとともに停車時は必ずエンジンを切り、また空ふかしやアイドリングをストップするよう立て看板をたて励行している。

- ②CO2排出削減一電気からガス空調への切替え

事務所及び工場の空調をガスに切り替えた事によりCO2排出量が電気に比べ大きく削減された。(資料3参照)

また、エネルギーコストも改善が見られた。(資料4参照)

5. 景観向上一工場周辺の清掃(盛越川の清掃)

周期的に清掃日を決め隣接する会社と協力の上実施する。

(平成14年5月24日両社協力して実施した)

以 上

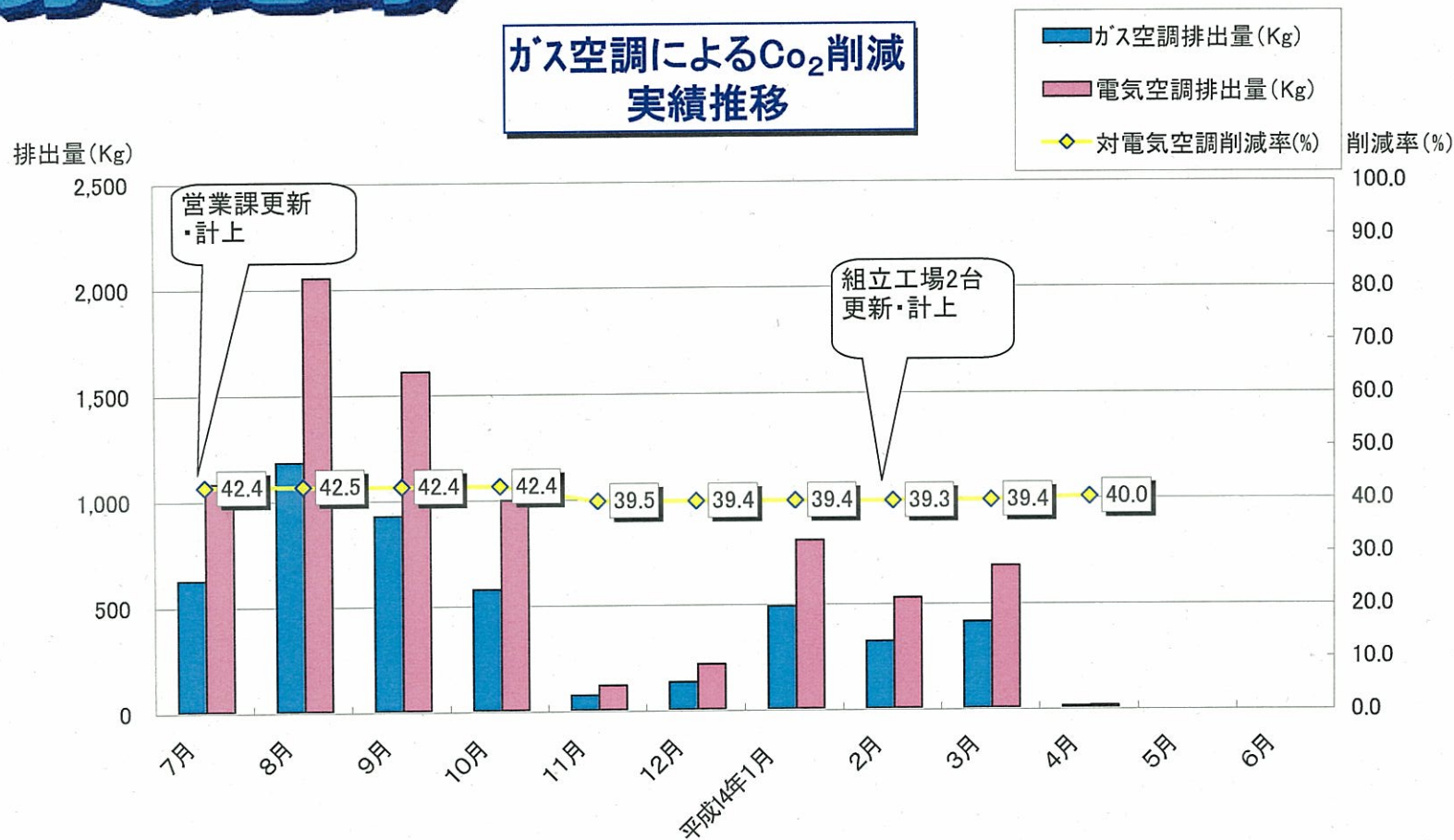
まとめと今後の課題

初年度の活動として何をやればよいか不安であったが、大津市環境部のご指導や、滋賀工業会の環境ISO研究会に参加することにより、環境への取組みの理解と認識が深まった。
さらに、社内においては安全衛生委員会等でこの取組みがいかに大切かを説くことにより、各部からは大きな協力が得られた。
この結果、2001年活動状況の中で述べた通り5つの項目について成果を見ることができた。
本年についても、気を緩めることなく一層の活動と細かい所への配慮を周知徹底していく。

以 上

大切な地球

ガス空調によるCO₂削減実績推移

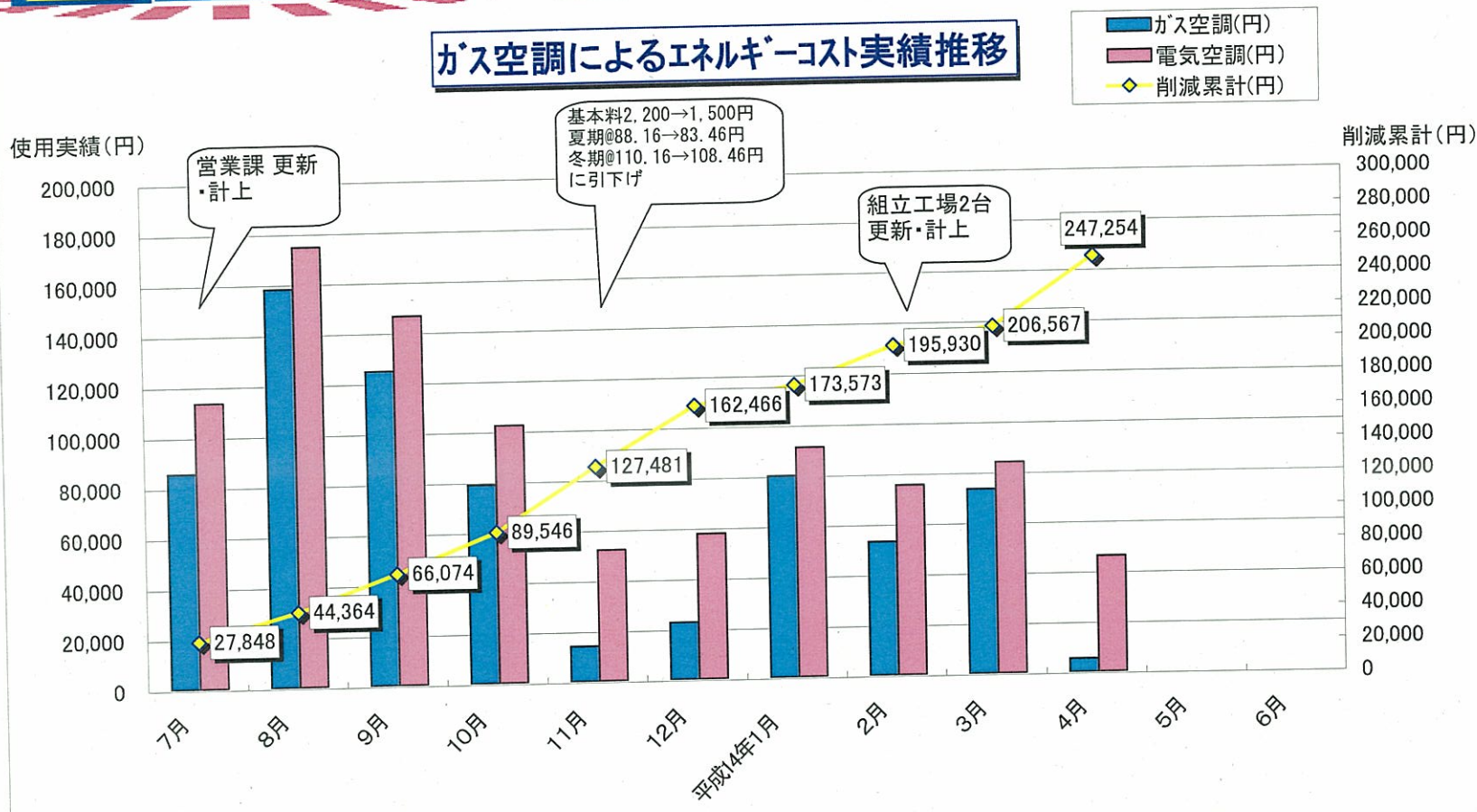


CO ₂ 排出量	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成14年1月	2月	3月	4月	5月	6月	累計
ガス空調排出量(Kg)	620	1,178	922	571	69	129	483	317	407	6			4,702
電気空調排出量(Kg)	1,076	2,047	1,602	992	114	213	797	522	672	10			8,045
削減量累計(kg)	456	1,325	2,005	2,426	2,471	2,555	2,869	3,074	3,339	3,343			3,343
対電気空調削減率(%)	42.4	42.5	42.4	42.4	39.5	39.4	39.4	39.3	39.4	40.0			41.6

排出量 = ガス・電気の使用量 × 炭素換算係数(ガス:0.642、電気:0.174)



ガス空調によるエネルギーコスト実績推移



使用料金	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成14年1月	2月	3月	4月	5月	6月	累計
ガス空調(円)	85,235	157,702	124,484	78,588	13,867	22,528	79,812	52,822	73,110	5,204			693,352
電気空調(円)	113,083	174,218	146,194	102,060	51,802	57,513	90,919	75,179	83,747	45,891			940,606
削減累計(円)	27,848	44,364	66,074	89,546	127,481	162,466	173,573	195,930	206,567	247,254			-247,254
削減率(%)	24.6	9.5	14.9	23.0	73.2	60.8	12.2	29.7	12.7	88.7			26.3



ガス管新設

GHP導入及びガス管(φ 100)改修
(本社 機械組立工場)